



電柱新設と架線工事のお知らせ

上生坂マイクログリッド工事では、地中で電力ケーブルをつなぐための管路を埋設する工事のほか、電線を架空でつなぐための電柱新設工事を実施しています。（R8.1月中旬に完了予定）

デイサービスセンター前

農業公社前



お知らせ

令和8年1月30日（金）～31日（土）に架線工事（電線を張る工事）を実施します。工事中は大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

Instagram



WEB



INTERVIEW

「親と子（ホイル家）」

Q1. 生坂村の良いところを教えてください

朝日村から空き家バンクを利用して、去年6月に引っ越してきました。田んぼも畑もついていて、犬を飼うにも環境が良いと思い決断しました。見学の時から近所の方たちがフレンドリーで優しく声をかけていただいたことが決め手でした。

Q2. 本事業についてどう思いますか？

ソーラーパネルの設置に関してあまり興味はありませんでした。ただ生坂村では度々、停電があることも聞いているので蓄電池の設置が出来ることも鑑みて、夫婦で話し合って決めていきたいと思っています。

Q3. これからの生坂村での展望はありますか？

自宅の納屋をヨガスタジオに改装して活動していくことを目標にしています。

EDITOR'S NOTE

編集後記

やまなみ荘の改修工事が始まりました。事務局も蓄電池設置が始まる等、どんどん脱炭素関連の工事が進んでいます。1/25には補助申請の受付を延長している、木質バイオマスストーブのイベントも開催されますのでぜひお越しください。

星野 亜紀子
（ゼロカーボン事務局）



表紙写真掲載家族募集中！

〔発行元〕生坂村 〔編集〕いくさかゼロカーボン事務局
〔電話〕050-3354-7715 〔メール〕info@green-ikusaka.org
〔住所〕生坂村5471-8（旧窪田商店） 〔平日〕9:00～17:00



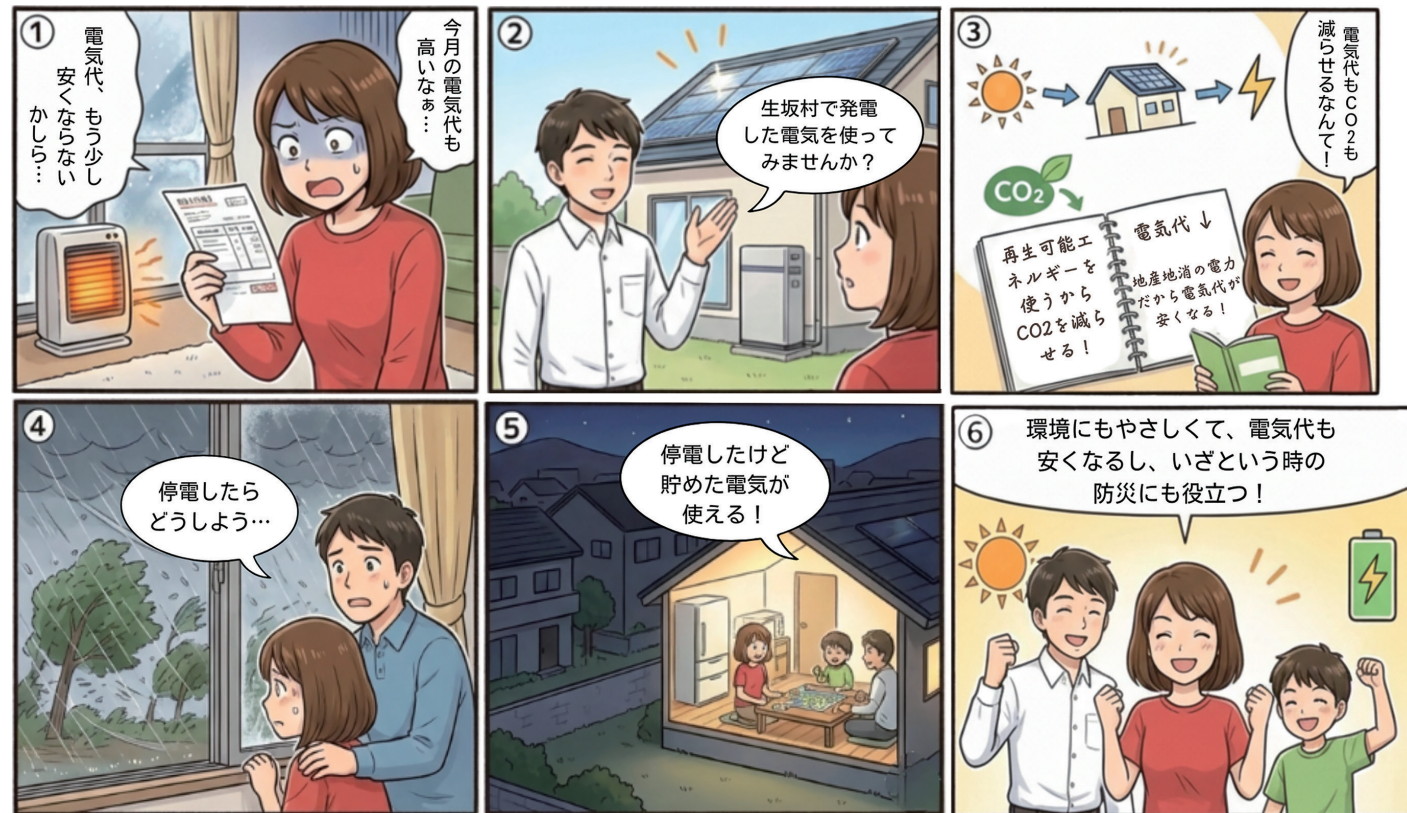
TOPICS

○太陽光パネル・蓄電池のメリット ○電気代の比較
○PPA事業 ○マイクログリッド工事（電柱新設と架線工事）のお知らせ



マンガで見る！ 太陽光で変わる暮らし

子どもから大人までどんな方にも分かりやすいように、太陽光パネルと蓄電池の
良いところをマンガにしてみました



太陽光パネル・蓄電池のメリット

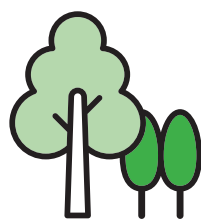
経済性



毎月の光熱費が
削減できます

地産地消の電力を使うため送電ロスが抑えられます。右で紹介している(株)いくさかてらすのPPAプランに加入した場合の削減事例をご参照ください。

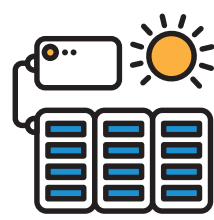
環境



CO2削減に
貢献します

再生可能エネルギーを使っているので、発電中はCO2を排出しません。役場の太陽光パネルによる R7.4月～6月のCO2削減効果は、約53%でした。
(太陽光パネルなしの場合と比較)

防災力



停電時に
電気が使えます

蓄電池があれば、停電が起きても平常時と同じように電化製品が使えます。

電気代の比較を行いました

【引用データ】・村内・オール電化のご家庭・契約容量 6kVA(R7.12月使用分)

・大手小売電気事業者の
オール電化割引適用プラン

・使用量 613kWh

・電気代(税込) 19,149円

電気代

約
10%
割安

・いくさかてらす「PPA」
17年プランに加入

・使用量 613kWh

・電気代(税込)

17,283円※

オール電化
割引を
適用

※R7.12月～R8.4月の期間限定10%割引分は除いて比較

R8.1月～3月は政府割(冬季の電気料金負担軽減支援)の適用もあります。
ちなみに、12月の使用量(613kWh)で試算すると電気代は(税込)14,690円まで下がります。

実際にどのくらい電気代がお得になるかをシミュレーションすることもできます。(株)いくさかてらすへお問い合わせ下さい。

〔 契約に関すること 〕

お問い合わせ先

株式会社いくさかてらす
Tel 0263-69-2388

太陽光パネルと蓄電池の写真



PPA事業も着々と進んでいます

寺島様(日岐地区)

化石燃料に頼らず村内で発電していくことに共感していました。蓄電池も設置が終わり稼働が始まったところ、停電が発生しましたが電化製品のスイッチを入れるだけで問題なく使用ができ、助かりました。



カーボンニュートラル達成に向けて

生坂村の目指す【カーボンニュートラル＝CO2排出量実質ゼロ】達成のためには、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用や、省エネ機器の積極的な利用といった、日常生活の中でもできる脱炭素の取り組みが必要です。

村の主役は、村民の皆さんです。一人ひとり、それぞれの望む暮らし方の中にも、村全体で目指していくカーボンニュートラルの実現を少しずつ共通認識として抱いていただくことが重要だと考えています。

村役場だけが頑張っている、カーボンニュートラルは実現できません。一緒に取り組みを続けていきましょう。